

神戸のまちづくりの経験・知見と技術をアジアの国々へ (1)

*** 日緬 ヤンゴン都市圏都市計画・都市開発セミナー(報告) ***

ミャンマー(緬甸)国では 2010 年に新憲法に基づく総選挙が実施され、民主化への流れが加速、対外的な経済開放政策が推し進められるとともに、ヤンゴン都市圏への経済・人口の集中が急速に進む一方、国土開発にかかる計画策定制度や都市計画を推進するための法制度などがほとんど体系化されていません。特に、人口 510 万人のヤンゴン市やマンダレー市など、人口の増加や都市化のスピードが速まる状況下、持続的発展を支える包括的な都市計画制度や都市開発手法の整備・充実に急がれています。

JICA(独)国際協力機構は 2013 年「ヤンゴン都市圏開発マスタープラン」を策定、その実現に向け都市計画専門家を派遣し、昨年 12 月に日本の都市開発手法の導入をめざし「ヤンゴン都市圏都市計画・都市開発セミナー」を開催しました。神戸市は JICA 及び国土交通省の要請を受け、神戸の都市開発における経験・知見や技術を伝えるため、セミナー講師として(一財)神戸すまいまちづくり公社の職員を派遣しました。

今回の取り上げたテーマは、「ミャンマーの都市開発にかかわるすべての人々にとって”如何に都市を築き上げていくか”の参考になったのではないかと思います。特に、ヤンゴン市の U Kyaw Soe 副市長は土地区画整理手法に強い関心を示されていました。

本セミナーではヤンゴン市開発委員会(市役所)からの参加呼びかけに応じて中央政府の建設省住宅局や UN Habitat 国連人間居住計画からも都市開発にかかわる興味深いプレゼンが成されました。多くの参加者が日本の都市開発を計画制度と法制度に基づいて俯瞰しながらミャンマーで都市開発が如何に議論され国際機関が何をしようとしているかを知るとは、都市開発を進めてゆく上での貴重な体験であり、今回のセミナーは参加者の都市開発への意欲を触発できたのではないかと思います。

なお、当公社職員の講演資料は、後日 JICA によりベトナム語に翻訳され、ベトナム国建設省都市開発庁の職員向けテキストとして使用されています。

(資料:JICA 専門家「都市計画アドバイザー」鈴木正彦氏の所感からの引用を含む)

【セミナーの開催概要】

- (1) 日程: 平成 26 年 12 月 11 日(木) 10:00 ~ 12 日(金) 16:20
- (2) 会場: ミャンマー国 YCDC ヤンゴン市庁
- (3) 主催: 日本国 JICA 独立行政法人 国際協力機構
ミャンマー国 YCDC ヤンゴン市開発委員会
- (4) 出席・参加者: 約 80 名

〔日本国側〕

(一財)神戸すまいまちづくり公社 国際インフラ支援室 支援課長 濱田 圭吾
(独)UR 都市再生機構 民間等海外展開支援室長 吉村 弘之
(独)JICA 国際協力機構 ミャンマー事務所 企画調査員 森川 真樹
YCDC ヤンゴン市開発委員会 JICA 専門家/都市計画アドバイザー 鈴木 正彦

〔ミャンマー国側〕

YCDC 副市長 U Kyaw Soe

YCDC 副市長 U Nyi Nyi

YCDC 都市計画・土地管理局 副局長 Dr. Toe Aung

課長 Daw Zin Mar Thu

YCDC 都市計画・土地管理局 都市計画アドバイザー Dr. Kyaw Lat

DHSHD 建設省 住宅局 地域計画部長 Daw Aye Aye Myint

〔国連 人間居住計画 UN Habitat〕

Transformation of Urban Management, Team Leader Dr. Reinhard Skineer

Human Settlements Programme, Urban Planning Officer Mr. Jack Finegan

Land Administration Programme, Senior Adviser Mr. Ian Lioyd

(5) 神戸市側(公社:濱田課長)の講演

- 日本の国土開発計画・システムと地域開発計画「神戸のマスタープラン」について
- 日本の都市計画法・制度と神戸の都市開発計画について

(6) セミナーにおける討論等の内容と所感

- 日本の国土軸である太平洋ベルト地帯同様、ミャンマーには南北の「ヤンゴンーマンダレー回廊」を軸とする国土計画があり、地域計画であるヤンゴン市マスタープランは連動して策定されているとの発言がありました。ただ、ヤンゴン市を含め国土全体を大河が北から南下するという地勢上、東西方向の国土軸、都市軸の形成が難しく、北方(上流)の中国を除くタイやインドなどとの連携・共栄及び東南アジア東西回廊の形成は、今後の取り組みと思われまます。
- 都市計画の視点からは、YCDC では「シュダゴン・パゴダの高さ」以上の建物は建設できないという高さ制限のみであり、今後の都市計画指針になればと、西神ニュータウン開発における安全で便利な都市や豊かな市民生活に不可欠な公共施設・空間づくりを紹介しました。
- ヤンゴン市南部地域の都心(オールドタウン)は、中層ビルの密集地区であり、商業・業務、住宅等が混在し、容量不足となりつつある道路区域以外には土地利用基準もなく無秩序な状態です。UN-HABITAT の話題提供に「土地利用・用途の混合利用」がありましたが、西洋の都市計画とは異なり、ヤンゴン既成市街地は日本同様、既に「混合利用」が定着しており、むしろ「混合利用」の中での秩序づくり、すなわち都市計画・開発管理が必要と思われまます。
- コンパクト・シティへの関心が高かったのですが、大規模低層住宅区画が中心となる中部地域等の実態は、自動車交通を前提とする都市計画となっています。今後、利用率の高いバス交通の高度化等の公共交通政策と一体的に進めるまちづくり政策の議論が期待されます。
- 北部地域から郊外に向かっては、低い容積率の住宅や公共施設などの土地利用ではあるが、幹線道路沿道では活発に開発が進みつつあり、開発許可にかかる管理・指導が成されていないため、今後、通過交通以外(地区内発生・集中)による交通混雑の悪化が予想されます。
- 開発途上国市に共通した道路等公共施設整備にかかる財源不足から日本の都市計画税や揮発油税などに感心をもたれましたが、公有地を切り売りするような開発事業者への許可(土地賃貸借契約)を出すだけでなく、土地利用や公共施設、公共サービス施設整備にかかる日本の開発ガイドライン・基準のような制度や開発管理システムの共有を進めたいと思われまます。



Time		Contents		Presenter
Session 1 Day 1				
10:00~10:10	10	Myanmar	Opening Remark	U Nyi Nyi (Joint Secretary)
10:10~10:40	30	UN-Habitat	Principles of Sustainable Urban Planning	Dr. Reinhard Skineer and Mr. Jack Finegan
10:40~11:30	50	Japan	National Land Development Planning System and Regional Development Plan	Mr. Keigo Hamada Kobe City government
11:30~12:00	30	YCDC	Issues on Urban Re-development and New Town Development of Greater Yangon	Dr. Toe Aung
12:00~13:00	60		Lunch Break	
13:00~13:50	50	Japan	Urban Planning Act and System Urban Spatial Development in Kobe City -	Mr. Keigo Hamada
13:50~14:20	30	YCDC	Proposed Yangon CBD Area Re-development	Daw Zin Mar Thu
14:20~14:50	30	UN-Habitat	The Role of Spatial Information Systems in Managing Human Settlements	Mr. Ian Liloyd
14:50~15:20	30		Open Discussion	
Session 2 Day 2				
09:00~13:00			Site Visit	
13:00~13:50	50	Japan	Outline of Urban Development in Japan	Mr. Yoshimura Director/UR
13:50~14:20	30	DHSHD	National Urban Policy and Urban Development Strategies	Daw Aye Aye Myint
14:20~15:10	50	Japan	Outline of Land Readjustment and Urban Renewal / Redevelopment	Mr. Yoshimura
15:10~15:40	30	YCDC	Yangon Development Phases and Priorities	Dr. Kyaw Lat
15:40~16:10	30		Open Discussion	
16:10~16:20	10	Myanmar	Closing Remark	U Than Lwin Oo (Head of CPLAD)

セミナー会場風景（鈴木 JICA 専門家提供）



初日 濱田氏（神戸市）のプレゼン



2日目 吉村氏（UR）のプレゼン



濱田氏のプレゼンに聞き入る参加者



吉村氏のプレゼンに見入るセクレタリー（副市長）



セミナー会場（初日）



2日目の会場

以上